

れいわさんねんど
令和3年度

ぶん かけいじゆつ こどもいくせいそうごうじぎょう じゆんかいこうえんじぎょう
文化芸術による子供育成総合事業 — 巡回公演事業 —

よろず きょう げん
萬 狂 言

のうがくこうえん
＜能楽公演＞



ぶん かけいじゆつ こどもいくせいそうごうじぎょう じゆんかいこうえんじぎょう
「文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—」

わ くに いちりゆう ぶん かけいじゆつだんたい しょうがっこう ちゅうがっこうなど こうえん こども すぐ ぶたいげいじゆつ かんしょう
我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

じぜん こども じつえんしどうまた かんしょうしどう おこな じつえん こども
事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。



番組

解説

狂言「柿山伏」

登場人物 山伏

柿の木の持ち主

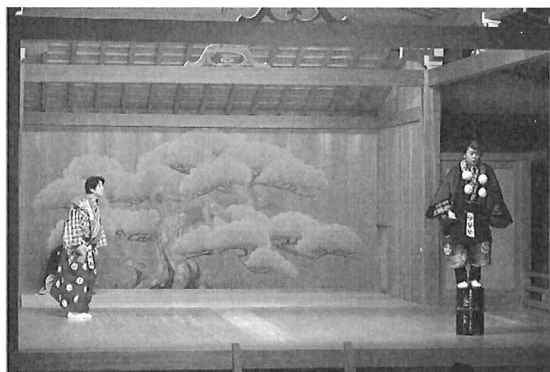
狂言「附子」

登場人物 太郎冠者

次郎冠者

主人

質問コーナー



「柿山伏（かきやまぶし）」

山での修行を終えた山伏（特別な力をもったお坊さん）は、帰る途中でのどがかわいてしまい、近くに柿の木があるのを見つけると、木に登り柿の実を盗んで食べてしまいます。そこへ柿の木の持ち主が現れたため、山伏は見つからないように急いで木のかげにかくれますが、大きな体がかくれるはずがありません。柿の木の持ち主はそんな山伏をからかってみることにして……。

「附子（ぶす）」

主人に留守番をたのまれた召使いの太郎冠者と次郎冠者。はじめはおとなしくしていましたが、猛毒でそちらから吹く風に当たっただけでも死んでしまうから近づくな、と言って主人が置いた「附子」が気になって仕方ありません。二人で協力してふたを開けてみると、中に入っていたのは黒いかたまり。引きとめる次郎冠者の声も聞かずに、太郎冠者が一口食べてみると……。

◆狂言の豆知識◆ 小道具について

ほとんど登場人物の台詞や動きだけでお話がすすむ狂言ですが、いくつかの小道具が使われることもあります。



●扇(おうぎ)

狂言で使う小道具の中でも、色々なものに見立てて使われるのが扇です。あおいだり、のこぎりとして木を切ったり、刀などの武器にもなります。



●葛桶(かずらおけ)

狂言ではよく使われる道具で、黒い桶にふたが付いています。そのままイスのように腰をかけた後、ふたを盃に見立ててお酒を飲む道具としても使います。

よろずきょうげん 萬狂言

萬狂言とは、狂言方きょうげんかた和泉流わいずみりゅう 野村万蔵家のむらまんぞうけい一門いちもんの呼び名で、約300年の歴史と伝統を受け継ぎ、その昔むかしは北陸ほくりくの加賀前田藩かがまえだはんのお抱えでもありました。

現在の当主とうしゅ(代表だいひょうのこと) 九世野村万蔵きゅうせいのむらまんぞうを中心に、東京とうきょう・北陸ほくりく・関西かんさい・九州きゅうしゅうを拠点として、公演こうえん活動かつどうや狂言きょうげんの稽古場けいこばの開設かいせつ、全国ぜんこくの小中学校しょうちゅうがっこうでの鑑賞会かんしょうかいやワークショップわーくしょっぷなどを行っています。

知っていますか? ~10月1日は「国際音楽の日」です~

1977年にユネスコの要請ようせいで設立せつりつされた国際音楽評議会こくさいおんがくひょうぎかいという会議かいぎで、翌年よくとしの1978年から毎年まいとし10月1日を、世界せかいの人々ひとびとが音楽おんがくを通じてお互いたがに仲良なかよくなり交流こうりゅうを深ふかめていくために「国際音楽の日」こくさいおんがくの日とすることにしました。

日本にほんでは、1994年から毎年まいとし10月1日を「国際音楽の日」こくさいおんがくの日と定さだめています。